

ため池の安全管理のために —— 日常点検のポイント ——



【道後平野のため池群】

愛 媛 県

1 はじめに

ため池は、古くから農業用水源として利用されてきていますが、万一決壊した場合には、その被害は農地や農道などの農業用施設にとどまらず、公共施設や人家等、更には人命にも及ぶ甚大な被害を及ぼす一面があります。

ため池が決壊する前には、漏水量の増加や濁り水が出るなど前兆現象の見られることが多く、ため池の管理者が日常点検で、いち早く異常を察知し、市町・県と連携して適切な対策を行うことが、決壊を防ぐ重要なポイントとなります。

このパンフレットは、ため池の管理者が日常行う点検項目と、その具体的ポイント、更には、ため池の異常を察知した際の連絡体制等を取りまとめていますので、有効に活用いただき、より安全な管理に取り組むようお願いいたします。

2 日常の管理

(1) 堤 体

- ・草刈りは漏水発見の第一歩です。年に2回は行いましょう。
- ・のり面に高い木が生えている場合は、速やかに除去しましょう。
- ・年に一回は落水して、念入りに調査・点検しましょう。

(2) 洪水吐

- ・土のうや堰板^{せきいた}等での堰上げ^{せきあ}は危険です。早急に撤去しましょう。
- ・洪水の流下を妨げる流木や大きい浮遊ゴミは、
速やかに取り除きましょう。

(3) 取水施設

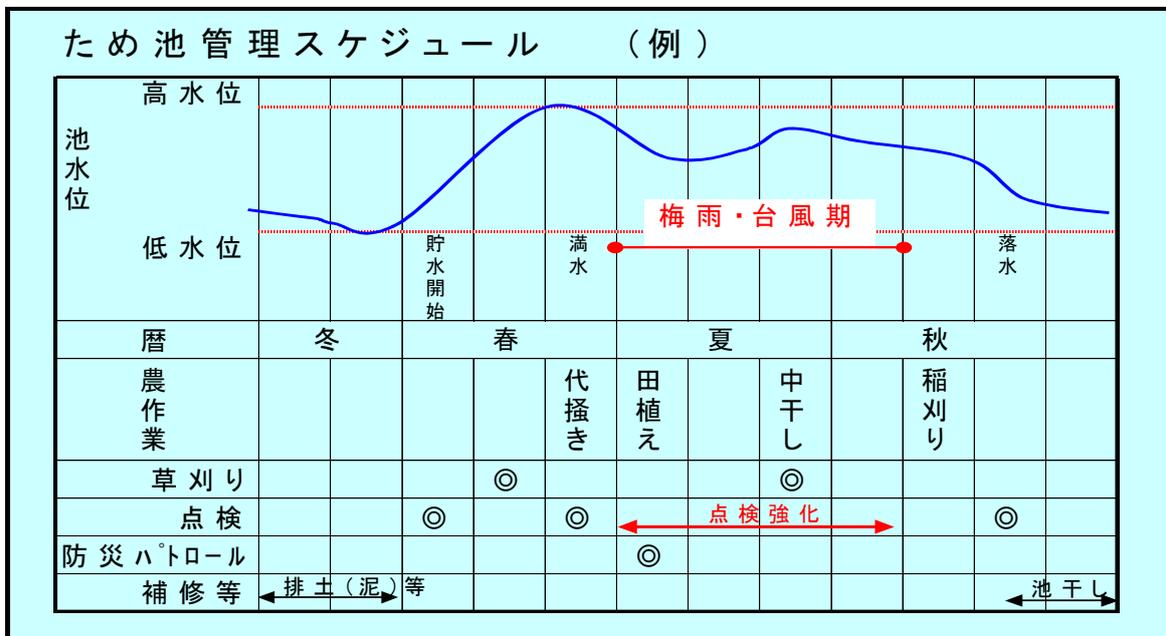
- ・樋管内や、樋管周辺からの漏水は、特に注意して点検しましょう。
- ・斜樋（ため池栓・スライドゲート）についても点検を行うとともに、
塗装や潤滑油を注入するなどの整備を行いましょう。
- ・落水時には土砂吐ゲートを点検し、
ゴミや堆積土砂などを除去しましょう。

(4) 点検の時期

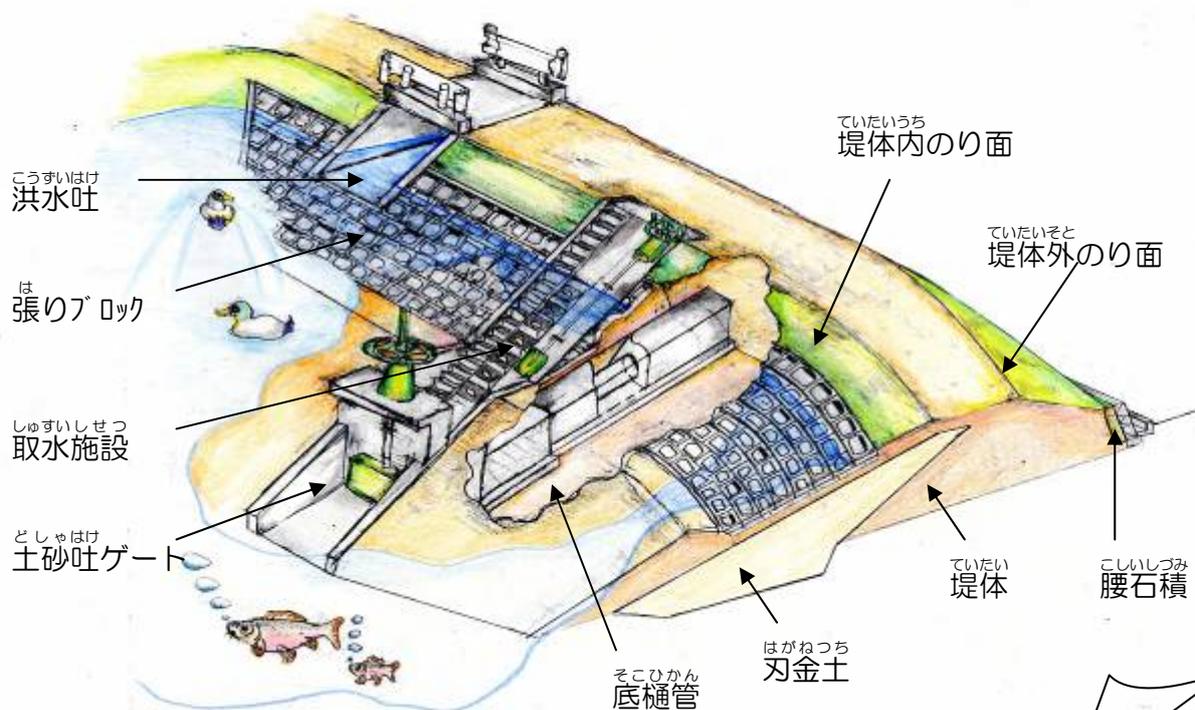
- ・日常の管理や点検は定期的に行いましょう。
- ・田植えを控えた満水時期・梅雨時期・台風時期の前には、
見回りを強化して、危険な箇所がないか点検しましょう。
- ・大雨や地震の後には、安全に気をつけて異常がないか点検しましょう。

(5) その他留意点

- ・ 点検結果は、記録表(別紙参照)として大切に保管しておきましょう。
- ・ ため池管理暦(下図事例参照)を作成して、
日常点検や草刈り等のスケジュールを事前に決めておきましょう。
- ・ 管理体制が替わった時は、市町役場へ連絡しましょう。



<メモ>ため池の断面と名称



3 点検のポイント

(1) 堤体

① 変形していませんか？

堤体の内のり面が浸食【写真①参照】されていたり、亀裂・陥没・崩落【写真②参照】しているところはありませんか。点検は、貯水開始時、満水時、秋の落水時など、貯水位を上げる時・満水位の時、下げる時に行いましょう。



【写真①】 堤体内のり面の浸食



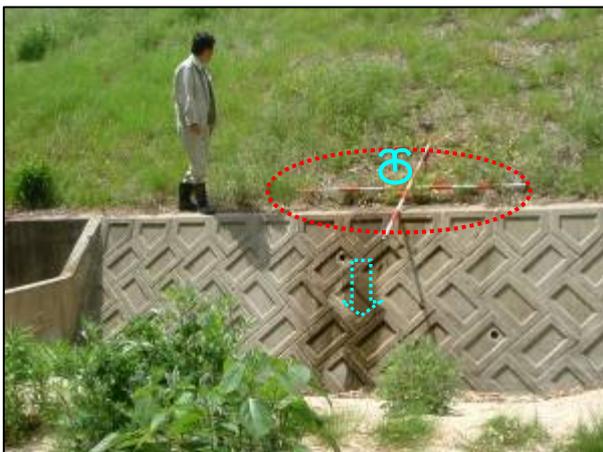
【写真②】 堤体外のり面の崩落

② 漏水はありませんか？

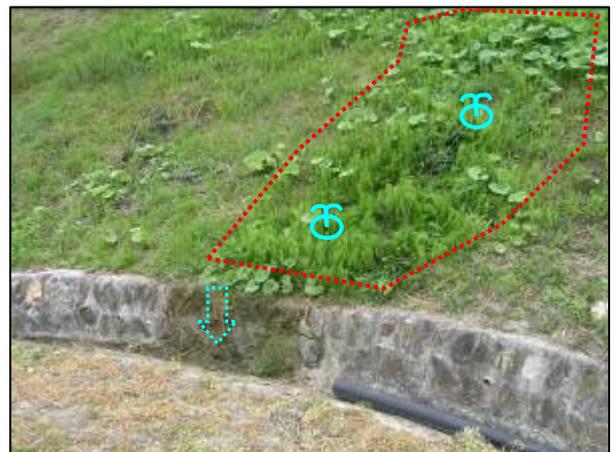
のり面・腰石積・地山との境などから水がしみ出していたり【写真③参照】、歩くと湿って柔らかくなっているところはありませんか。小さな水みちが決壊のもとになります。特に、こうした箇所には、湿地を好む植物が繁茂するなど植生の変化【写真④参照】が見られます。

毎年行う草刈り時に注意して点検するとともに、このような現象を発見した場合は、速やかに市町役場に連絡しましょう。

また、貯水位を急に上げたり下げたりすると、割れ目からの浸透水で堤体が破壊したり、のり面が崩落したりすることがあります。このため、長時間落水した後、一気に満水位まで貯めないよう、漏水などを確認しながら徐々に水位を上げるようにしましょう。



【写真③】 堤体のり尻からの漏水状況



【写真④】 漏水に伴う堤体のり面の植生変化

(2) 洪水吐

① 土のうなどで堰上げしていませんか？

洪水吐に土のうを積んだり、堰板などで堰上げ【写真⑤⑥参照】していませんか。満水位以上に水位を上げると、漏水を助長するばかりでなく、洪水時には土のう等に流木が引っかけたて洪水吐を塞ぐこともあります。ため池は土で出来ているため、水が堤防を越えると決壊する危険性が高いので、早急に撤去しましょう。



【写真⑤ 土のうによる洪水吐の堰上げ】



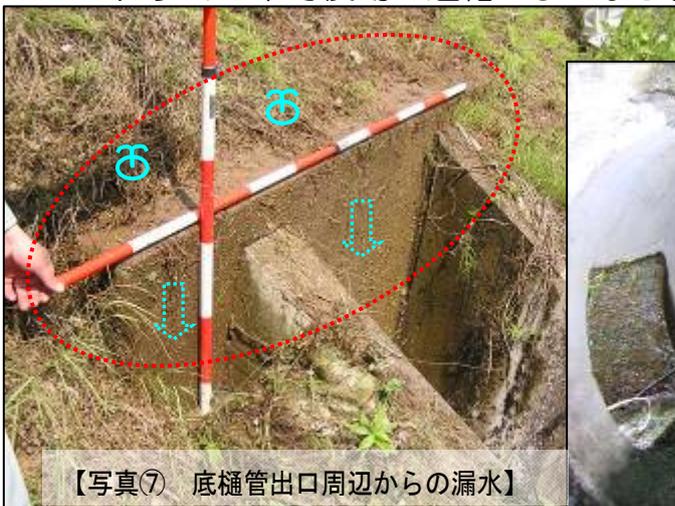
【写真⑥ 堰板と土のうによる洪水吐の堰上げ】

(3) 取水施設

① 底樋周辺から漏水はありませんか？

底樋管出口周辺からの漏水【写真⑦参照】はありませんか。ため池の決壊は底樋管周りで多く発生しております。出口周辺だけでなく、樋管内部の亀裂や漏水【写真⑧参照】にも注意して入念に点検しましょう。

特に、漏水量が増えてきたり、堤体外のり面の高い位置に漏水が見られたり、土が混ざったような濁った水が漏れていたら危険な場合が多いので、すぐに市町役場に連絡しましょう。



【写真⑦ 底樋管出口周辺からの漏水】



【写真⑧ 底樋管内部からの漏水】

4 もし異常を発見したら

まず、ため池の水位を下げましょう。
(取水栓を開ける。場合によってはポンプ等による排水も行う。)
また、穴などが開いている場合は土のうなどで応急処置をする。

速やかに状況を市町役場に報告し指示を受ける。

○決壊が予想される場合

漏水量が増えたり、濁りが生じた場合は決壊の恐れがあります。

周辺の住民に呼びかけ安全な場所へ避難する。
(いざと言う時のために避難場所等を決めておきましょう。)

速やかに市町役場や消防署へ連絡する。

ため池の被災事例



【芸予地震(H13.3.24)による堤体張りブロックの被災状況】



【台風15号(H16.8.18)による堤体の被災状況】

5 ため池の管理体制

(1) 先ず、ため池の位置と名前を確認しましょう。

市町役場担当課に相談して、ため池名を記入した地図又は航空写真を集会所等に掲示しておきましょう。

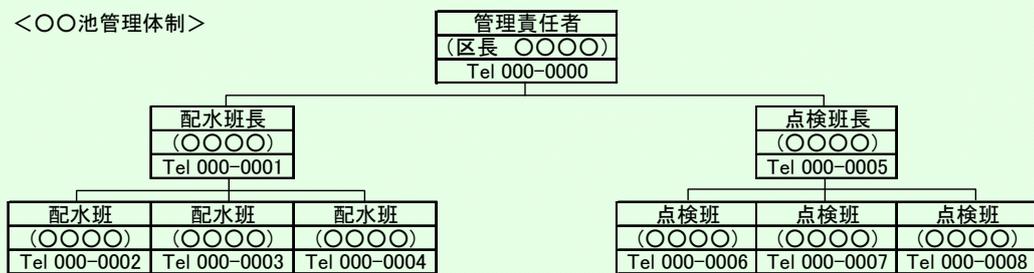
(2) ため池毎に日常の点検者等、役割分担を決めましょう。

ため池の点検は、より多くの人を確認することで、異常を発見する機会が多くなります。

管理は複数の人があたり、管理責任者等役割分担を決めて、集会所等に掲示しておきましょう。

<管理体制(例)>

<〇〇池管理体制>



○梅雨や台風期等の体制

- ・大雨や洪水に関する気象情報が発令された場合などに備えて、事前に関係機関との連絡体制を確認しておきましょう。
- ・地元関係者は災害発生などに備えて避難場所・避難経路等を確認しておきましょう。

○地震時の体制

- ・地震による影響の確認は極めて重要です。
- ・震度4以上の地震が発生した場合は緊急点検を行い、市町役場に報告しましょう。

管理者は、ため池の決壊を防ぐ責任があります。

常日頃から、見回りを行うとともに、緊急時の連絡体制を整えておきましょう。

6 ため池の改修工事

県や市町では、ため池に関わる災害を未然に防止し、農業用水を安定的に確保するため、各種の補助事業により、ため池の改修を行っています。

(事業の詳細は、市町役場、最寄りの県地方局農村整備課にお問い合わせ下さい。)

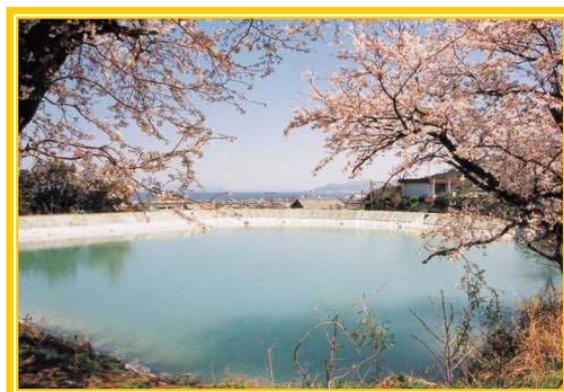
ため池は、決壊するとその被害は広範囲に及び、影響は想像以上に大きいため、危険なため池は、早急に整備しましょう。



ため池の役割と効果

農業用水源

ため池は、農業にとって大切な水を確保する用水源としての役割を担っています。また、防火用水源としても利用されています。



洪水緩和・土砂流出防止機能

ため池は、大雨を一時的に貯留して洪水を緩和したり、上流からの土砂の流出を防ぐ役割も果たしています。



生態系の保全と安らぎの提供

多くのため池には、豊かな生態系が維持され、その水辺の空間は、人々に安らぎと潤いを提供しています。

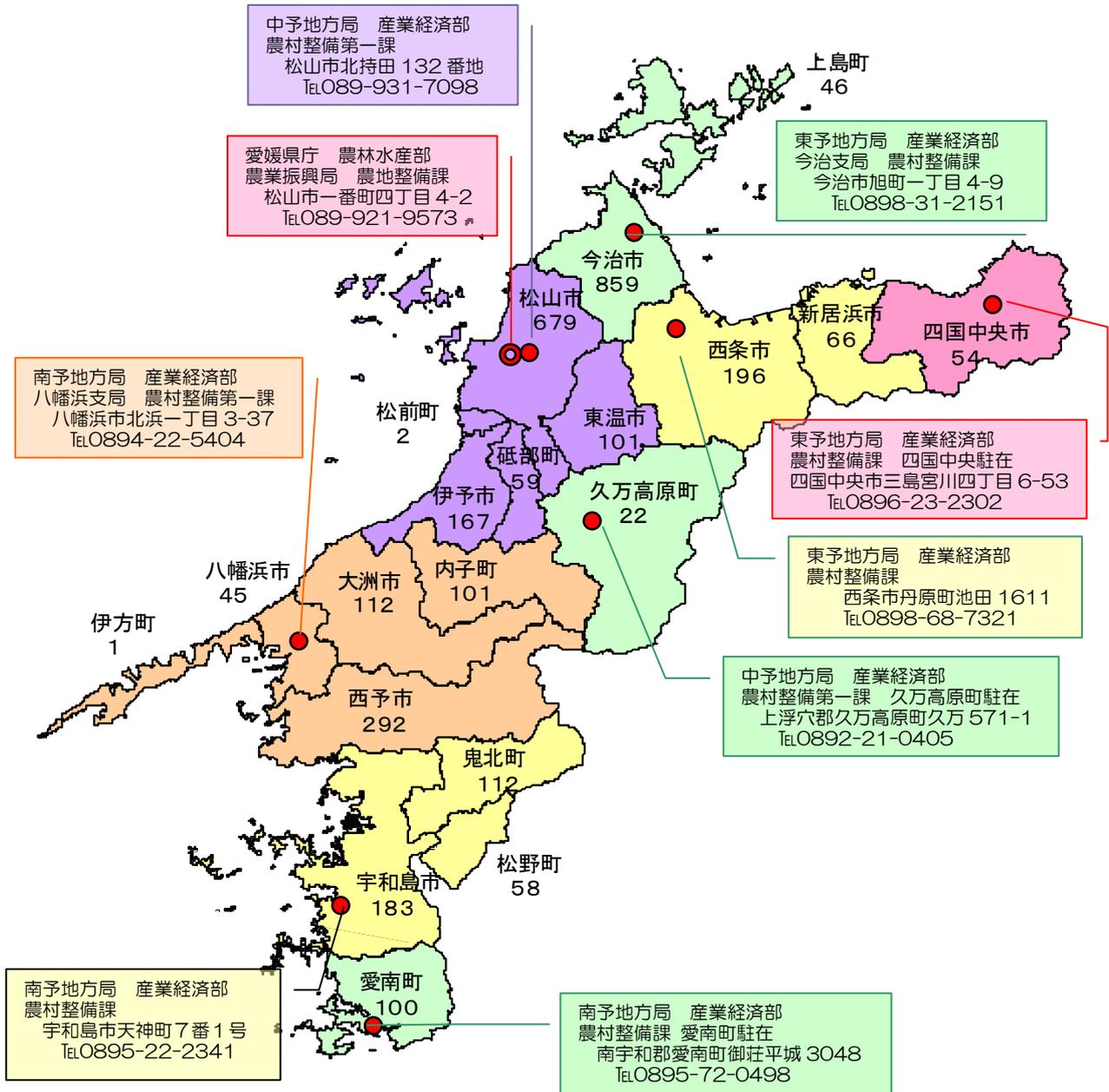
愛媛県ため池分布状況及び所管事務所連絡先

市町役場

課 Tel



※注) 所管する市町役場担当課の電話番号を記入しておきましょう。



※注) 市町名下段はため池数

☆ 問い合わせ先 ☆

愛媛県 農林水産部 農業振興局 農地整備課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4-2

Tel.089-921-9573

(担当; 農地防災係)

<点検記録表>

ため池管理者

点 検 者

ため池名

点 検 日 平成 年 月

ため池所在地

ため池の水位

対象	点検項目	異常	状 況	備 考	
ため池本体	堤 体	漏水	有・無		
		にじみ出し	有・無		
		植生の変化	有・無		
		のり面崩落	有・無		
		陥没	有・無		
		亀裂・段差	有・無		
		草刈り	有・無		
	取水施設	漏水	有・無		
		亀裂・段差	有・無		
		崩壊	有・無		
		折損	有・無		
		沈下	有・無		
	洪水吐	亀裂・段差	有・無		
漏水		有・無			
浮遊ゴミ		有・無			
堰上げ		有・無			
周辺地山	漏水	有・無			
	崩壊	有・無			
	亀裂・段差	有・無			
	周辺の地すべり	有・無			

<緊急連絡先>

ため池の管理責任者 () TEL _____

消防署 TEL _____

警察署 TEL _____

市町役場 課 TEL _____

(コピーしてお使い下さい)



愛媛県

〒790-8570 松山市一番町四丁目 4-2

TEL:089-921-9573

農林水産部 農業振興局 農地整備課